



阪養会だより

令和元年 8 月 阪養会発行

暑い夏からさわやかな秋に時期を移し開催する阪養会。内容も一新となり、初めてのことで役員一同戸惑いながらも、同窓生の皆さんに楽しんでいただけるように準備を進めています。10 月には多くの皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



＊ ＊ 大切な仲間、この場所でめぐり逢えた ＊ ＊

校長 塚本久義

平素は、本校の教育活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。

お陰様で、この4月に小学部11名、中学部29名、高等部41名、分教室16名、合わせて97名の新生を迎えて、在校生373名の県下で一番の大きな阪神特別支援学校がスタートしました。

毎日、教室のあちらこちらから子ども達の元気な明るい声が聞こえ、校訓に示されたとおり、明るく、たくましく、こころゆたかに活気ある阪神特別支援学校です。

子ども達の年齢は6歳から18歳まで様々で、経験も個性も一人一人異なっています。入学当初は、大勢の中で共に活動していくことに戸惑いを感じている人たちもいましたが、いつの間にか大きな家族のような関係を築いていくことに教えられることばかりです。一人の人間として認められ役割をもつことで自信もついてきます。阪神特別支援学校に通っているすべての児童生徒が、卒業後に、社会で生かされ、安心して暮らしていけることを願っています。

本校は開校から55年目、阪養会も昨年は天候の影響で中止となりましたが、今回で37回目を迎えることになるとお聞きしています。これまで、児童生徒や保護者のみなさん、地域の方々、そして教職員が協力して作り上げてこられた伝統のある素晴らしいイベントです。たくさんの人たちが、この場所で大切な仲間とめぐり逢えました。阪養会は、この学校で学んできた卒業生の皆さんが一堂に介し、近況を報告したり、今も忘れない仲間と過ごした日々を振り返るかけがえのない機会となっています。また、教職員にとっても、卒業生の元気な姿に触れることができる貴重な場所となっています。懐かしい仲間や保護者、恩師との思い出はかけがえのない宝物です。阪養会での楽しいひとときを過ごしていただければと思います。

最後になりましたが、10月13日の阪養会の開催にあたり、ご尽力をいただきます役員をはじめ数多くの関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



＊ ＊ 着任のあいさつ ＊ ＊

教頭 大中 美幸

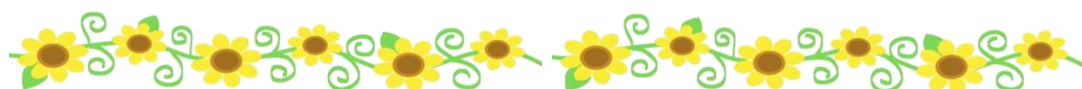
阪養会の皆さま、ご無沙汰しております。この度の異動で神戸特別支援学校・教頭より、阪神特別支援学校に戻ってまいりました大中 美幸（おおなか みゆき）です。

阪神特別支援学校には、本校、分教室を併せて7年間お世話になりました。その中の数年間、進路指導を担当していたこともあり、いろいろな進路先を訪問させていただいて、様々な年代の卒業生の皆さんともたくさんお目にかかることができました。活き活きと活動したり、働いたりされていた方、しんどさや悩みを抱えていた方、施設や職場を移動されていた方等、それぞれの人生を歩まれていました。今回、数年ぶりに阪神特別支援学校の職員室に座り、その折、卒業生

の皆さんの活躍の様子を喜んだり、解決策を相談したり、楽しいお話を聞いたり、力及ばず申し訳なさを感じたりしたことを鮮明に思い出しています。

先日、ある研修で、「自立とは、自分自身で衣食住すべてのことを賄えるということではなく、困ったときに適切な助けを求められることである」とのお話を聞きました。これはまさしく特別支援学校が目指している自立だと思いました。私たちの児童生徒の多くは、自分の気持ちや要求を上手に伝えることが苦手です。ですから社会に出る前に一人ひとりに合ったコミュニケーション方法で、自分の気持ちを他の人に伝えられるように学習を積み重ねていくことが必要だと改めて思いました。微力ながら、思い出深い阪神特別支援学校の教頭として、児童生徒と社会をつなげる教育を推進していきたいと思います。

一足先に社会で活躍されている阪養会の皆さまにはご指導、ご支援をいただくことも多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。阪養会楽しみにしております。



＊ ＊ 着任のあいさつ ＊ ＊

分教室教頭 富本 明子

阪養会のみなさま、こんにちは。この度、神戸特別支援学校より阪神特別支援学校分教室教頭に着任いたしました富本明子（とみもと あきこ）と申します。本年度は、平成から令和へと新しい年号にかわりました。歴史の変わり目ともいえるこの記念すべき年に、初任校以来長らく離れていた阪神地区に戻って来られたことを大変うれしく思っています。

子どもたちが小学校（部）に入学してから高等部卒業まで、学校で学ぶ期間は12年間です。その中で、ひとりの教師が直接関わり教えることができる期間は本当にわずかです。そのわずかな期間で、将来、充実した質の高い生活を送るために、学校でできることは何なのか、何を教えるべきなのか…。特別支援教育に携わるようになってから10年以上になりますが、日々模索し続けてきました。阪神特別支援学校では分教室教頭として新たな視点を持ち、地域との協働や武庫荘高等学校との交流及び共同学習など、分教室ならではの地域性を生かした取組みを充実させ、さらなる発展のために尽力して参りたいと思います。

阪養会の皆さま、今後とも本校の教育活動へのご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



6月1日（土）晴天の下、体育大会が行われました。同窓生も恒例の「大玉ころがし」に参加し、在校生の声援をうけ、楽しみました。



～お知らせ～

今まで夏休みを利用して行っていた阪養会ですが、秋に行くことにより各教室には入れません。そのため学年ごとの懇親会はなくなりますが、時間の許す限り、ゲームや音楽で楽しんでいただければと思います。

